

多文化共生のまち新宿



1. 地域の現状

・新宿のまち:

31万人が住むまち、人口の1割が外国人、昼間人口77万0094人
新宿駅一日 352万5560人、事業所数 34,297所、
従業員数 606,026人、特別出張所 10所、地区協議会 10所
マンション住民の増加、町会会員加入率 49.9%

・外国人住民の特徴(P3～P7)

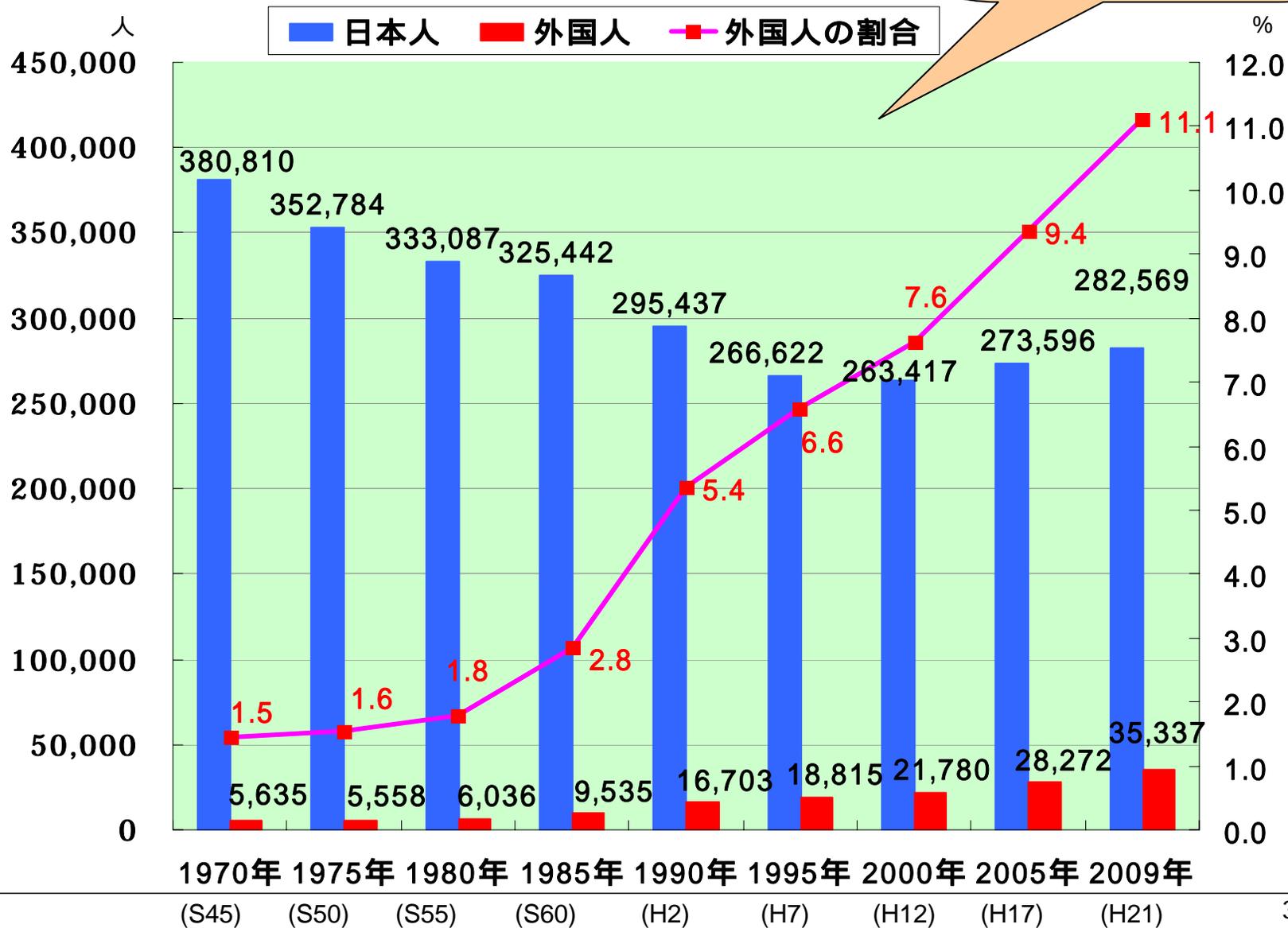
多岐にわたる国籍(最大119カ国)、在留資格(永住者6,122人
非永住者28,871人)、地域的偏在

・その他関係事項(P8～P10)

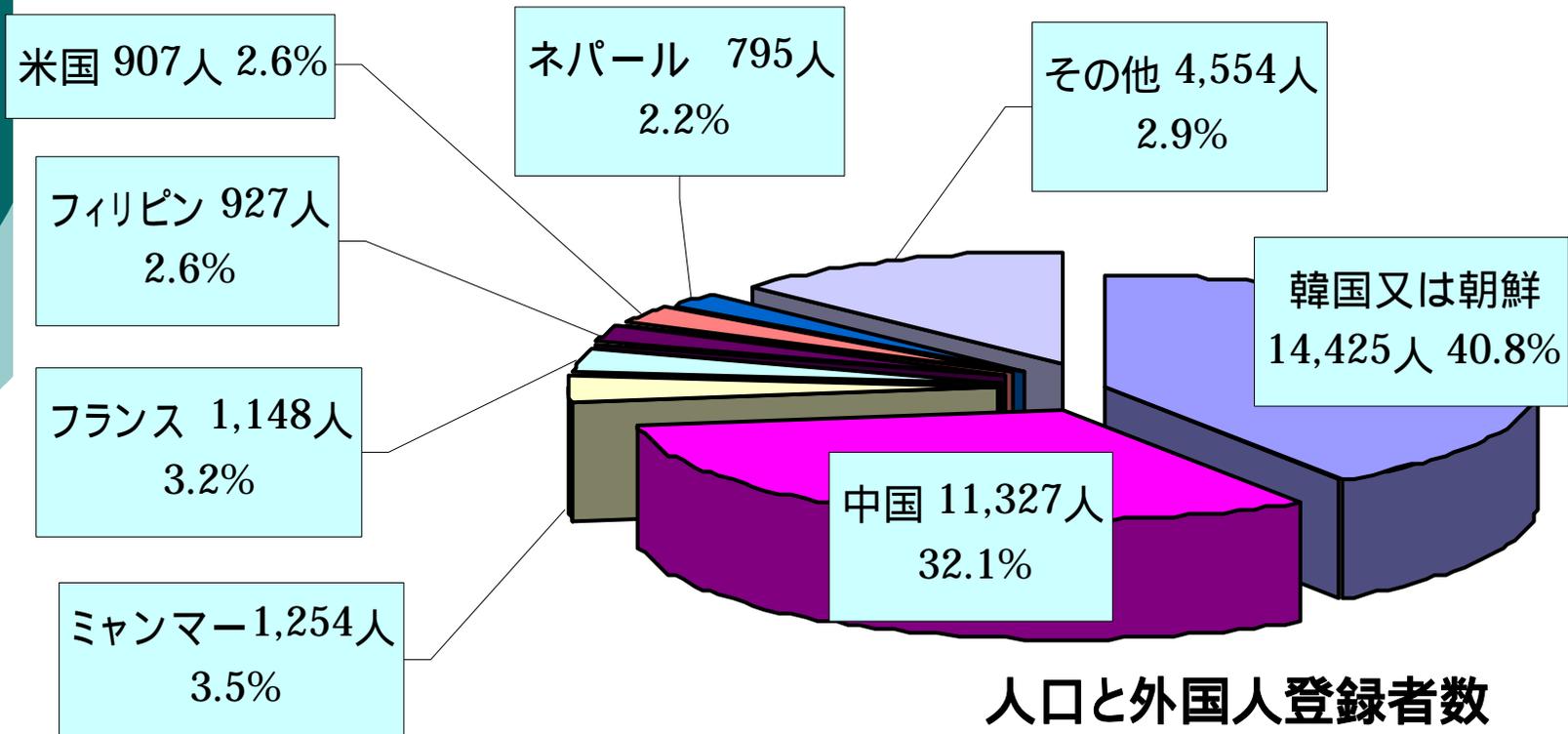
新宿多文化共生実態調査から

外国籍住民に関する統計(推移)

1983年「留学生受け入れ10万人計画」1990年には50校もの日本語学校が開校



国籍別の外国人登録者数 2009年(平成21)11月1日現在(117ヶ国)



人口と外国人登録者数

日本人	282,569人	88.9%
外国人	35,337人	11.1%
合計	317,906人	100.0%

外国人の割合は、11.1%
区民の9人に1人は外国人区民です。

外国人登録者 国籍別一覧

(各年1月1日付)

国名	1985年 (昭和60年)		1990年 (平成2年)		1995年 (平成7年)		2000年 (平成12年)		2005年 (平成17年)		2009年 (平成21年) 11月1日	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
韓国 又は朝鮮	4,315	45.3%	7,079	42.4%	7,550	40.1%	8,928	41.0%	11,384	40.3%	14,425	40.8%
中国	2,730	28.6%	6,312	37.8%	6,583	35.0%	6,764	31.1%	9,289	32.9%	11,327	32.1%
ミャンマー	11	0.1%	85	0.5%	636	3.4%	707	3.2%	831	2.9%	1,254	3.5%
フランス	222	2.3%	398	2.4%	429	2.3%	661	3.0%	880	3.1%	1,148	3.2%
フィリピン	197	2.1%	545	3.3%	790	4.2%	702	3.2%	796	2.8%	927	2.6%
米国	637	6.7%	618	3.7%	612	3.3%	658	3.0%	722	2.6%	907	2.6%
ネパール	3	0.0%		0.0%	24	0.1%	63	0.3%	115	0.4%	795	2.2%
タイ	108	1.1%	148	0.9%	289	1.5%	383	1.8%	593	2.1%	720	2.0%
イギリス	261	2.7%	356	2.1%	305	1.6%	392	1.8%	433	1.5%	437	1.2%
カナダ	54	0.6%	107	0.6%	127	0.7%	152	0.7%	191	0.7%	269	0.8%
その他	997	10.5%	1,055	6.3%	1,470	7.8%	2,370	10.9%	3,038	10.7%	3,128	8.9%
合計	9,535	100	16,703	100	18,815	100	21,780	100	28,272	100	35,337	100



外国人登録者数の上位10位までを表した。

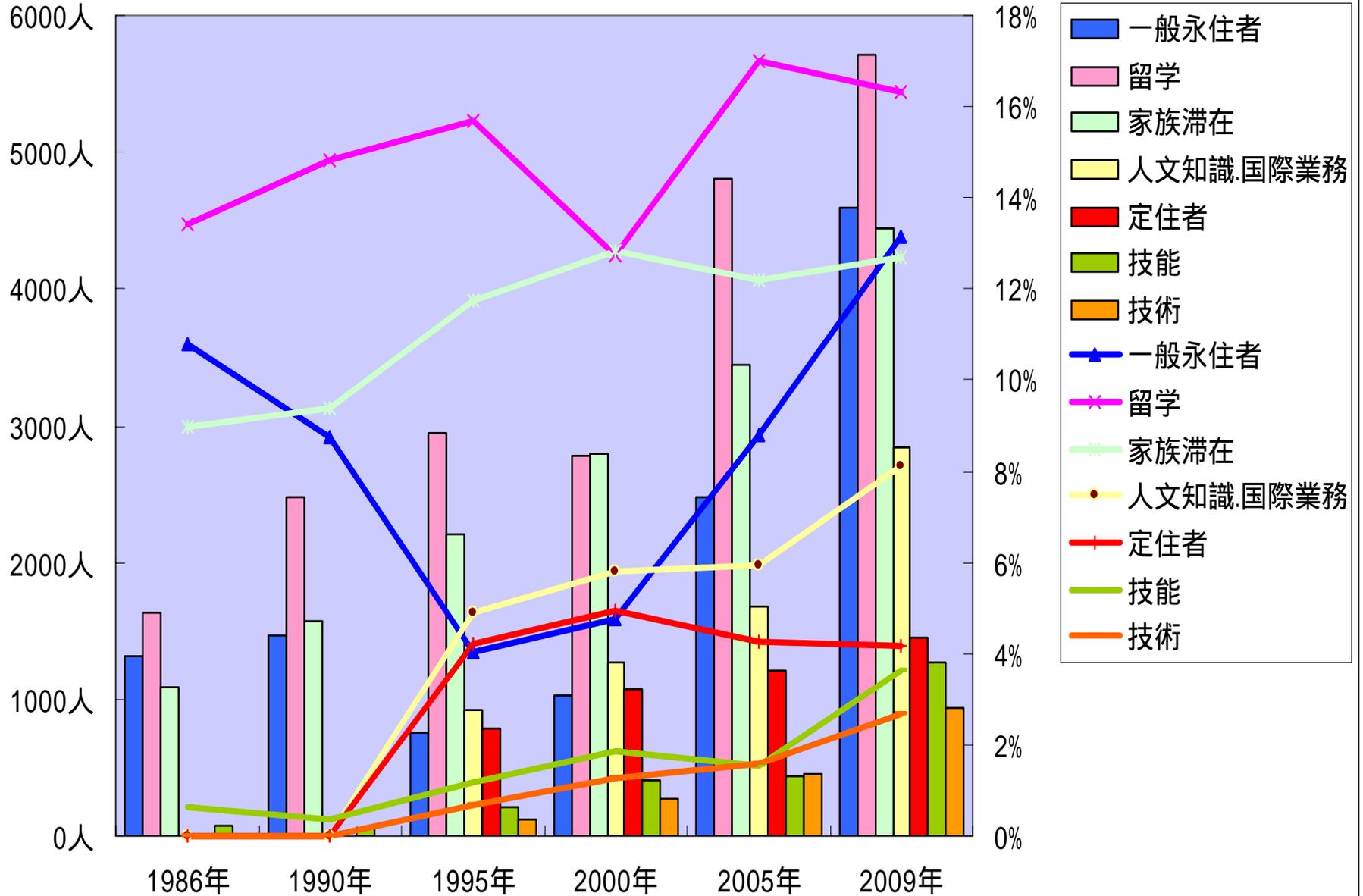
全体に増加傾向にあるが、ミャンマー、ネパールの伸びが著しい。

外国人登録者(在留資格別) 推移

増減の動きの大きい在留資格に色をつけています。

在留資格	1986年(昭和61年)		1990年(平成2年)		1995年(平成7年)		2000年(平成12年)		2005年(平成17年)		2009年(平成21年)10月1日現在	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	12,117		16,703		18,815		21,780		28,272		34,993	
永住者	2,470	20.4%	2,630	15.7%	2,493	13.3%	2,732	12.5%	4,046	14.3%	6,122	17.5%
うち一般永住者	1,310	10.8%	1,464	8.8%	755	4.0%	1,033	4.7%	2,486	8.8%	4,597	13.1%
特別永住者	1,160	9.6%	1,166	7.0%	1,738	9.2%	1,699	7.8%	1,560	5.5%	1,525	4.4%
非永住者	9,647	79.6%	14,073	84.3%	16,322	86.7%	19,048	87.5%	24,226	85.7%	28,871	82.5%
留学	1,628	13.4%	2,478	14.8%	2,954	15.7%	2,774	12.7%	4,805	17.0%	5,707	16.3%
家族滞在	1,090	9.0%	1,567	9.4%	2,208	11.7%	2,798	12.8%	3,452	12.2%	4,445	12.7%
就学		0.0%		0.0%	2,910	15.5%	2,899	13.3%	3,389	12.0%	3,850	11.0%
人文知識・国際業務		0.0%		0.0%	918	4.9%	1,267	5.8%	1,676	5.9%	2,846	8.1%
日本人の配偶者等	1,087	9.0%	1,847	11.1%	2,272	12.1%	2,264	10.4%	2,266	8.0%	2,100	6.0%
定住者		0.0%		0.0%	791	4.2%	1,080	5.0%	1,204	4.3%	1,452	4.1%
技能	77	0.6%	64	0.4%	219	1.2%	403	1.9%	439	1.6%	1,277	3.6%
特定活動		0.0%		0.0%	102	0.5%	129	0.6%	385	1.4%	1,221	3.5%
短期滞在	594	4.9%	767	4.6%	1,190	6.3%	1,971	9.0%	1,837	6.5%	1,173	3.4%
技術	0	0.0%	0	0.0%	124	0.7%	276	1.3%	454	1.6%	936	2.7%
在留資格なし	236	1.9%	49	0.3%	115	0.6%	841	3.9%	1,634	5.8%	796	2.3%
投資・経営	317	2.6%	496	3.0%	220	1.2%	332	1.5%	412	1.5%	701	2.0%
企業内転勤		0.0%		0.0%	398	2.1%	455	2.1%	608	2.2%	698	2.0%
永住者の配偶者等		0.0%		0.0%	94	0.5%	80	0.4%	135	0.5%	272	0.8%
興行	178	1.5%	332	2.0%	573	3.0%	450	2.1%	398	1.4%	250	0.7%
その他	4,440	36.6%	6,473	38.8%	1,234	6.6%	1,029	4.7%	1,132	4.0%	1,147	3.3%

在留資格別推移



(昭和61年9月) (平成2年1月) (平成7年1月) (平成12年1月) (平成17年1月) (平成21年10月)

その他関係事項から 『多文化共生実態調査』より

項 目	平成15年度	平成19年度
調査対象	区内在住の20歳以上の男女個人 5,000人 / 1,049人、インタビュー調査34人	区内在住の20歳以上の男女個人 5,000人 / 907人、インタビュー調査40人
調査方法	外国人登録原票から単純無作為抽出及びインタビュー調査	外国人登録原票から単純無作為抽出及びインタビュー調査
主な設問の内容	日本での暮らし全般 ことば・情報 住居 医療・年金 子育て 仕事 災害時・緊急時の対応 近所づきあい 偏見・差別 地域活動 行政サービスほか	新宿区の住みよさ ことば(日本語学習) 日常生活 地域での交流 情報提供・相談体制 災害時・緊急時の対応 多文化共生のまちづくり

問 多文化共生のまちづくり推進のため (平成19年度調査より)
力を入れるべきことは何ですか？ (複数回答) %

	外国人区民	日本人
交流会・イベント	41.9	38.4
多言語での情報提供	32.0	41.0
外国文化の紹介	22.8	21.5
生活相談	25.9	29.6
日本語教室	35.9	34.6
意見交換会	31.1	26.3
NPO・ボランティアの育成	18.2	14.2
偏見・差別を無くす努力	38.0	33.6
子ども留学生の支援	30.0	21.9
外国人の意見・提案	27.7	21.8

平成15年度、平成19年度実態調査の比較

(平成19年度調査より)

		15年度	19年度
困っていること (外国人)	物価が高い	47.9	39.6
	友人が少ない	14.6	23.6
日本人とのトラブル (外国人)	部屋からの声・物音	9.4	11.0
	言葉の行き違い	*	9.9
行ってみたい活動 (外国人)	母語を日本人に教えたい	35.8	30.7
	ボランティア活動に参加	29.0	26.7
近所に外国人が住む (日本人)	好ましい	17.1	21.2
	好ましくない	27.8	20.7
心配に思うこと (日本人)	犯罪が増える	61.7	48.5
	なんとなく不安	38.3	32.7
	部屋に大勢が住む	33.7	27.6

* は、平成19年度新設項目

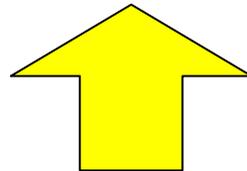
2. 多文化共生施策の全体像

- ・規模別の主な取組内容 (別添様式の区分ごとに)
- ・推進体制の整備状況
(担当部署の設置状況、指針・計画等の策定状況及び主な目的)

「多文化共生のまちづくり」の推進 新宿区としての基本的な考え方

～多文化共生のまち 新宿～

日本人と外国籍住民が互いに理解し、
尊重しあえる地域社会の実現



外国籍住民施策の方向性を明確にする
多様性を尊重する。
外国籍住民が多く住み暮らすことを新宿区の特徴としてプラスメッセージを発信する。

3 . 代表的な取組事例の紹介

しんじゅく多文化共生プラザの運営(P14)

- ・平成17年9月開設、年間2万5千人が利用

外国人への情報提供 ~これまでの取組とガイドライン~ (P15)

- ・HPは、月1回更新。年間100万件のアクセス数
- ・外国語広報紙を年4回発行
- ・新宿生活スタートブック・マップを発行
- ・10分野の生活情報紙を発行

平成21年度 外国人への情報提供に関するガイドラインを策定予定

外国人相談窓口(P16)

- ・2008年度 区役所内4,815件 しんじゅく多文化共生プラザ783件

日本語学習の支援(P17~P18)

- ・8カ所、9教室で開催

ネットワーク連絡会(P19)

- ・外国人やNPO、町会、商店街、行政が連携を図る

多文化防災訓練(P19)

- ・大久保小学校や日仏学院で開催

しんじゅく多文化共生プラザ



多目的スペース



日本語学習コーナー



資料・情報コーナー



外国人相談コーナー

外国人への情報提供 (日本語ルビ付・ハングル・中国語・英語)



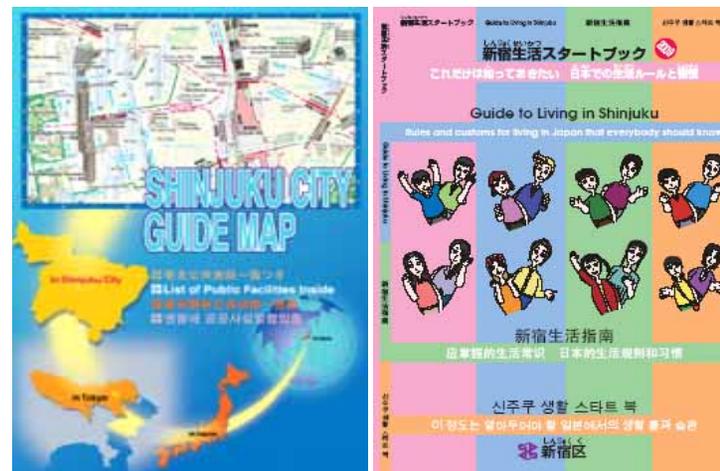
生活情報紙



広報紙

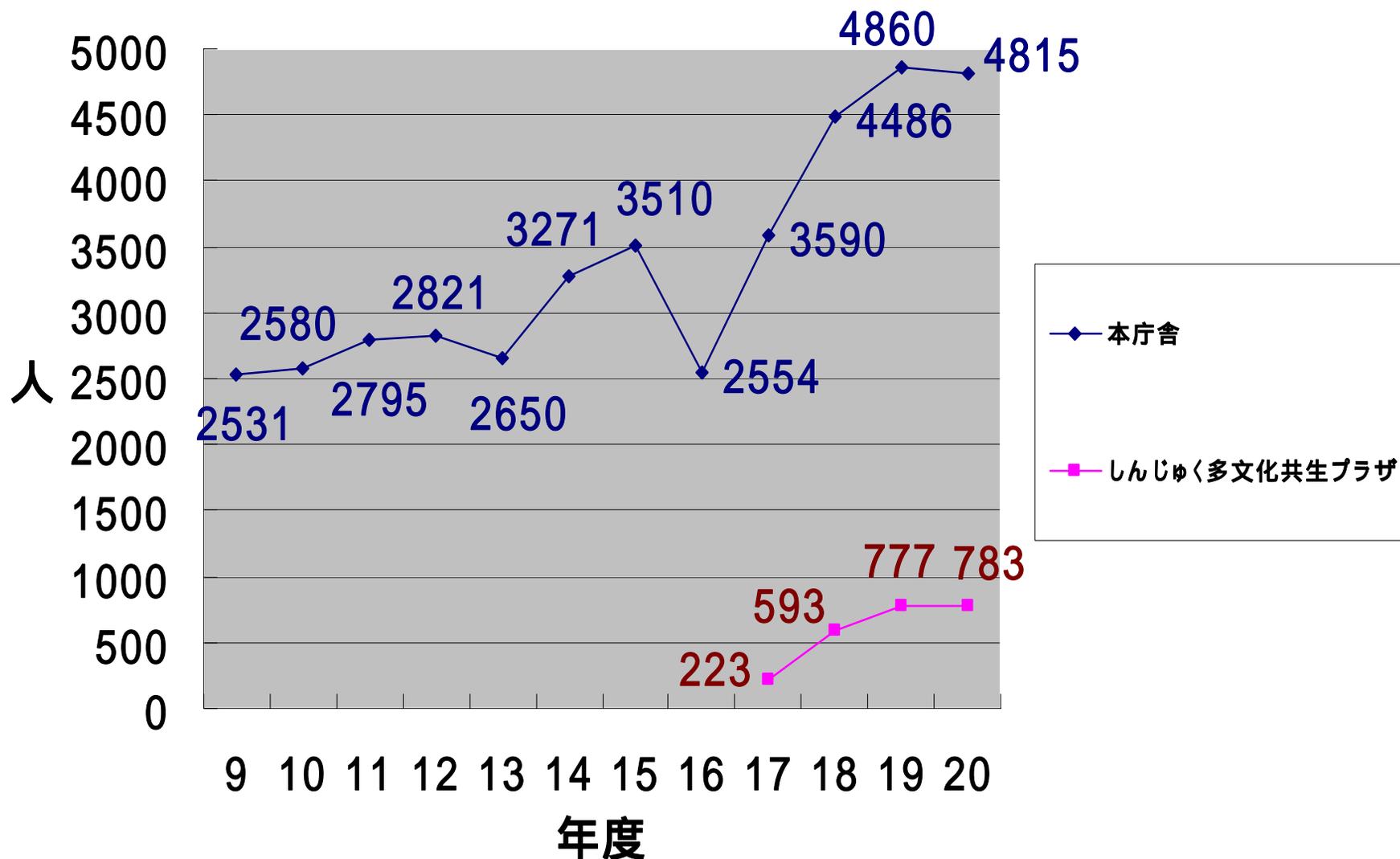


ホームページ



スタートブック・マップ

外国人相談窓口 相談件数の推移



日本語教室

区内8ヵ所9教室で運営(3学期制)

昼: 8教室 夜: 1教室

週2回コース5教室(学期4千円)

週1回コース4教室(学期2千円)

2009年11月現在、32カ国242人が受講中

民間ボランティアによる日本語学習支援(無料)

しんじゅく多文化共生プラザを利用

かんじ(月曜日)、みんなでにほんご(火曜日)

ひらがなカタカナ(水曜日)

子ども日本語学習支援の流れ

・教育センターにおける (H20)

- ・日本語サポート教室
- ・中国語または韓国語を母語とする日本に編入学してきた小・中学生。
1日3時間を10日間計30時間

・学校における (S63)

- ・日本語サポート指導
- ・日本に編入学してきた小・中学生
- ・1日2時間、週2日、小学校
50時間、中学校60時間

- ・日本語サポート指導終了後、日本語指導呼び教科指導を希望する小・中学生

・日本語学習等支援事業

- ・ボランティアが放課後、学校で日本語と学習面のサポートをします。1日あたり1～2時間程度

- ・2年目以降学校外での子ども日本語・学習支援

・子ども(夜の)日本語教室

- ・小学校5年生～中学校3年生
- ・週2回、2時間程度



多文化共生のネットワーク



連絡会



外国文化の紹介(ペルーの踊り)



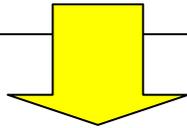
多文化防災訓練



外国文化の紹介(サムルノリ)

残された課題

地域社会での様々なトラブルが起こる中で、日本人区民へのフォローアップ
不就学の可能性がある学齢期の児童・生徒の実態把握
顔の見えない外国人とのネットワークづくり…etc.



増加する社会負担(自治体の負担)
…行政需要に対応する区政策が、
更なる需要を呼ぶ状態

広域的・総合的な体制整備を！

外国人の受入れ

外国人登録

日本語学習

生活支援

教育

子育て

医療

住居

社会保障

